進路通信

令和5年11月13日 第16号
佐世保市立中里中学校
発行担当者 立石寿美代

令和6年度公立入試について、県教委から示された「実施要領」について、お知らせしていきます。

令和6年度長崎県公立高等学校入学者選抜実施要領(Part①)

【全日制課程および定時制課程昼間部】

前 期 選 抜：令和6年2月1日(2日間実施の場合は、1日、2日) <合格者発表 2/8(木)>

	A 特色選抜	B 文化・スポーツ特別選抜
対象	● 各高校が示す「育成したい生徒像・求める生徒像」を理解し、当該高校で学ぶ意欲を持つ者	● 文化・スポーツの各種大会等で優れた実績を有する者または部活動で優れた資質や能力を有する者で、入学後も継続的に活動を希望する者(※通学区域は、県全域)
検査方法	● 調査書その他必要な書類のほか、基礎学力検査(国語・数学・英語の3教科計60分、各教科40点、計120点)、面接、プレゼンテーション、実技、作文・小論文・総合問題の中から各高校が選択して実施します。	● 調査書その他必要な書類のほか、基礎学力検査(国語・数学・英語の3教科計60分、各教科40点計120点)、面接、実技、作文・小論文・総合問題の中から各高校が選択して実施します。
志願の手続き	● 1校1学科(コース)に限る。 ● 志願者は、前期選抜A特色選抜入学願書及び写真票を作成し、選抜手数料2,200円を納付する。	● 1校に限る。ただし、高校によっては、第3希望まで学科(コース)を希望できる。 ● 志願者は、前期選抜B文化・スポーツ特別選抜入学願書及び写真票、前期選抜B文化・スポーツ特別選抜志願理由書を作成し、選抜手数料2,200円を納付する。
備考	★ 募集定員は、全募集定員の5%~50%の範囲で各高校が学科別に定めます。そのうち、「B 文化・スポーツ特別選抜」については、原則として各高校の全募集定員の5%までの範囲で定員が定められています。 ★ 「A 特色選抜」「B 文化・スポーツ特別選抜」ともに、調査書その他必要な書類及び各高校で定めた検査について、各高校でそれぞれの比重を定めて選抜が行われます。 (比重の例) <佐世保西高校「A 特色選抜」の場合> 調査書:基礎学力検査:面接 = 5 : 3 : 2 **※ 前期選抜で合格した者は、後期選抜に志願することはできません。**	

【全日制課程の全学科】

後 期 選 抜：令和6年3月6日(水)、7日(木) <合格者発表 3/15(金)>

<募集定員>
● 全募集定員から前期選抜の合格者数を減じた数

<検査方法>
● 調査書その他必要な書類のほか、学力検査(国語・社会・数学・理科・英語各50分、各教科100点)、面接
● 各高校は、学校や学科等の特色に応じて、特定の教科について学力検査の得点を1.5倍から2倍の範囲で重視する傾斜配点を用いることができる。

<志願の手続き>
● 1校に限る。ただし、高校によっては、第3希望まで学科(コース)を希望できる。
● 志願者は、後期選抜入学願書及び写真票を作成し、選抜手数料2,200円を納付する。ただし、全日制課程の選抜手数料をすでに納付している者(前期選抜志願者)は必要としない。この場合、必ず前志願先高等学校の選抜手数料領収書を添付すること。

<備 考>
★ 調査書その他必要な書類、学力検査、面接について、各高校でそれぞれの比重を定めて選抜が行われます。

3年生の皆さんへ

進路の実現へ向けて

いよいよ中学校生活も残り4か月余りとなりました。三者面談が始まり、これから受験（検）に向けて本格的に勉強をしなければならないと自覚してきている人が増えてきています。とても良いことです。2学期後半は、中学校卒業後の進路決定に大きな影響を与える大切な学期になります。

そこで、みなさんの前に大きく立ちはだかる受験（受検）という問題について、どう取り組んでいくべきか悩んでいる人のために、これからの学習や生活についてアドバイスしたいと思います。

～受験（受検）に向けた取組について～

1 基礎学力の充実をはかろう。

（1） 特に不得意な教科については十分に！ 例えば、漢字を覚える、計算練習をする、英単語を覚える、など、基礎基本を継続的に取り組んでいくことです。

（2） 何から勉強していいか分からない人は、まずは、1、2年生の復習に取り組む。高校入試の問題は、1、2年生で習ったことも多く出題されます。今まで部活動があった時間帯を上手く活用して復習することも必要です。

2 学習習慣は、生活習慣から。

朝起きる時間や夜寝る時間をきちんと決めて、朝・昼・夜の三度の食事をきちんと取る。一番大切なことは、生活習慣を崩さず、リズムある生活を心掛けることです。当たり前のことですが、夜遅くまで勉強し過ぎて、「朝に起きられない」、「寝坊して遅刻する」、「寝不足でだるい」、「朝食が入らない」では、学校の授業に集中はできません。

3 やらなければできるようにはならない。

「テストの点が取れた」ことや「良い成績が残せた」ことは勉強をした結果です。勉強をしないで点数を上げることはできません。なかでも良くない考えは、「どうせやっても無理だから」、「勉強するのが面倒くさい」などの、投げやりな気持ちになることです。目の前の現実から逃げても、高校入試は確実にやってきます。入試直前に焦ったり、不安な気持ちになったりしないよう、今から自分のできることをこつこつと取り組んでいくしかありません。『学問に王道なし』ということです。

4 先手必勝

「明日から取り組もう」、「夕方はやる気がでないから、夜中にやろう」などと、漠然として時間を過ごすのはもったいないです。少しでも早くに取りかかった人が有利なことは当然です。

5 進学先は？

進路目標はありますか？目標が見つかれば、その目標に向かって取り組むことができます。「受かるところでいいや」などと、何も努力をしないで受かる高校はありません。長崎県内の中学3年生全員が、自分の目標に向かって努力（勉強）をしています。

そして、高校で何をやりたいのか？高校合格が人生のゴールではありません。高校も人生の通過点として、将来、どんな職業に就きたいのか？どんな生き方をしたいのか？など、少し先の自分の将来（夢）について考えてみることも必要です。

6 まず対話から！

みなさんはどれだけ、進路について保護者（家族）と話し合っていますか？保護者（家族）は、みなさんが成人するまで責任を持つ義務があります。だから、みなさんの進路についても、いろいろと心配しています。時には、口うるさく言われる場合もあるでしょう。しかし、それは、人生の先輩として、みなさんにいろいろアドバイスをしてくれているのです。保護者（家族）の想いも受け入れながら、自分の進路についての考えをきちんと伝え、保護者（家族）と十分に話し合って進路先を決めてください。